

月		11			12			1			2			3			4			5			6			
旬		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中		
生育	11月20日播種			播 種 発 芽				有効分げつ期			無効分げつ期			莖立期		節間伸長			出穂期		登 熟 期					
	主な作業と要点	土壌改良剤散布 排水対策 種子消毒 基肥施肥 播種 除草剤散布 11月20日播種	← 麦ふみ (3~4回) → ← 土入れ (2~3回) → ← 除草剤散布 → 追肥 1追肥 2 赤かび防除1回目穂揃追肥3赤かび防除2回目 カラスノエンドウ 抜き取り 適期刈取																							

1. 品 種 特 性 表 (播種時期の厳守・早播はしない)

品 種 名	播 種 期	播 種 量 (10a当り)	出 穂 期	成 熟 期	注 意 事 項
イチバンボシ (裸麦)	11月20日	7~8kg	4月3日	5月22日	・ 湿害に弱いので排水不良田では作付しない。 ・ 大豆跡には作付しない。(品質が低下するため)
チクゴイズミ (小麦)	11月20日	6~7kg	4月12日	6月4日	・ 大豆跡では苗立ちが良いので播種量は5kgとし、厚播きしない。

2. 施肥、土づくり (土改材は必ず使用する事) (10a)

品 種	土壌改良材	基 肥	追 肥 1	追 肥 2	穂揃追肥3
イチバンボシ	珪鉄・粒状ミネラル 200kg	くみあい化成 ベスト444 40kg	NK2号 20kg	NK2号 10kg	—
	石灰 100kg		ベスト444 25kg	ベスト444 10kg	
チクゴイズミ	珪鉄・粒状ミネラル 200kg	くみあい化成 ベスト444 40kg	NK2号 30kg ベスト444 35kg	NK2号 15kg ベスト444 20kg	硫安 ^{*1} 10kg~15kg
	石灰 100kg		グッドIB407 30kg	—	

※前作が大豆、野菜の場合には、施肥量を半分にする。
※稲わらは全量すき込むこと。すき込まない場合は基肥を10kg減らす。
※1 チクゴイズミはタンパク質含有率を上げるため、必ず3回追肥をする。(3回目は硫安)

3. 種子消毒

薬 剤 名	処 理 方 法
ベンレートTコート	種子10kgに対し50gを乾粉衣する。

4. シロトビムシ類、鳥害対策 (種子消毒含む)

薬 剤 名	処 理 方 法
キヒゲンR-2フロアブル	種子10kgに対し200mlを塗沫処理する。
クルーザーFS30	種子10kgに対し60mlを塗沫処理する。(小麦に限る)

6. 除 草 (カラスノエンドウ防除の徹底)

除草剤名	散布時期	使用量(10a)	水 量	使用上の注意	重点雑草の防除方法
ボクサー	播種直後 (スズメノテッポウ は1葉期まで)	400mℓ 〜 500mℓ	70~100ℓ	ハーモニーDF抵抗性スズメノ テッポウに効果が高い。	1. スズメノカタビラやカズノコグサが多い圃場 (初期除草剤＋生育期除草剤) 播種直後にボクサー(乳剤)・クリアターン乳剤・細粒剤F を散布し、更に1月上・中旬にハーモニーDFを散布する。 2. ヤエムグラ、カラスノエンドウ等 広葉雑草が多い圃場 ●カラスノエンドウは、2~3葉期までにハーモニーDF を散布する。 ●ヤエムグラは、4節期までにハーモニーDFを散布する。 カラスノエンドウの子実が麦に混入すると製品にならない ので収穫期まで残った場合は必ず手で抜き取る。
リベレーターフロアブル	播種直後	60mℓ(裸麦) 60~80mℓ(小麦)	100ℓ	裸麦は、薬害に注意! ノミノフスマに効果が高い。	
クリアターン乳剤	播種直後	500mℓ 〜 700mℓ	70~100ℓ	●雑草出芽前に散布する。 ●播種深度は1cm以上とする。 ●ヤエムグラには効果が劣る。	
クリアターン細粒剤F	播種直後	4~5kg	—		
ハーモニー細粒剤F	播種後~ 麦3葉期	4~5kg	—	●土壌が乾燥している場合やヤエム グラには効果が劣る。	
ハーモニーDF (スズメノテッポウ) (5葉期まで)	1月中旬 ~ 2月中旬 (莖立期前まで)	7.5~10g	100ℓ	●使用後、タンク及び散布器具は消 石灰を用いて洗浄する。 ●土入れ・麦ふみ直後の散布は避ける。 ●周囲に園芸作物がある場合は、飛 散しないよう十分注意する。	

※隣接ほ場で他作物が栽培されている場所での農薬散布の際は、周辺作物へ農薬飛散しないよう注意してください。
☆農薬は、令和6年9月26日現在の登録状況にもとづき記載しております。